

思いやい
一生懸命
笑顔

八幡っ子



酒田市立八幡小学校
令和元年12月16日
校長 高橋 健

「ふるさとを愛し 夢をもって学び続ける子」

充実した2学期、間もなく終了！ ～運動会、十周年…心に残る83日！～

長かった2学期も今週いっぱい終了し、21日からは、待ちに待った年末年始休業が始まります。この2学期もとっても充実した日々でしたね。水泳、運動会、持久走、学校祭、十周年式典、絵画教室、オペラ、落語…様々な体験を通して、一回りも二回りも大きくなった八幡っ子でした。施設等も充実し、ターザンロープ、生垣整備、そして現在は、いよいよ来夏に向けたエアコン工事が行われています。そのため教室を使えないので、各学年別の場所で授業を行っています。でも、来年からは、猛暑の夏も学習に集中できますね。一安心です。



なかよし縄跳び大会

さて、そんな八幡っ子の2学期はどんな学校生活だったのでしょうか？
令和元年 八幡っ子の2学期 自己採点を見てみましょう。

思いやい	あいさつ	77点
	協力 (なかよし)	80点
一生懸命	継続 (つづける)	82点
	真剣 (まじめ)	82点
笑顔	なかよし	85点

全体的にみると、概ね良好な学校生活を送り「幸せ」な学校に近づいてきています。詳細をみると、下学年に90点を越す高得点が多く上学年になると自分に厳しい点数をつけています。それだけ目標を高く設定しているということでしょう。

いい傾向ですね。3学期に向けての課題は「あいさつ」と「協力」です。2学期各学年であったけんかやいじめをなくし、今以上に「幸せな学校」にするようみんなで頑張っていきます。3学期は何点まで上がるか楽しみです。



努力の足跡！表彰朝会！

2学期後半の頑張り、その中から学校から出品・出場したものを紹介します。みんな、おめでとう！

- ・ 防犯作品コンクール 5年 本間 玄規 君 佳作
- ・ 創意工夫展 6年 佐藤 美詠和 さん
ロータリークラブ 会長賞
5年 阿部 龍童 君 入選
- ・ 安全な町市民大会コンクール
入選 1年 土井 一輝 君 1年 土井 悠聖 君
6年 遠田 颯大 君
- ・ 動物愛護コンテスト 優秀 3年 佐藤 心咲 さん
- ・ 明るい選挙ポスター展 入選
5年 毛屋 友徳 君

他にも、スポ少の大会、空手、一輪車、ピアノでも優秀な成績を収めた八幡っ子がたくさんいました。頑張りましたね。「継続」の力ですね。



6年生：ランチルームで授業

PTA も頑張っています！

第2回健康ふれあい委員会開催！

11月27日(水)、学校医の大滝晋介先生、薬剤師の戸田登先生、八幡保育園長の森典子先生、保健師の阿部まゆみ先生ご出席のもと、50名近くの会員で開催しました。

メディアコントロールをテーマに、各学年の今年度の取り組み報告がありました。

コントロールには、①使い方②内容③使い道の3つの制御が必要であることをお話させていただきました。犯罪被害にもつながるSNSも含め活発な意見交換になりました。



観音寺城（来次城^{きすぎじょう}）について…

先日、和田邦雄さん、信夫効次さんとある会合でお会いしたときに、観音寺城のことが話題になりました。是非子どもたちにも教えたいたいものだという話になり、早速資料を頂戴すると共に、「八幡町史」で調べてみました。地域の皆様には周知のことと思いますが、創立 10 周年を機に改めてこの八幡小学校の立つ古楯の地に思いを馳せ、ここに掲載させていただきたいと思います。以下はその資料（古城盛衰記）と八幡町史の上巻からの抜粋です。

1 主郭跡

観音寺城の位置については、山口重三氏は、来次氏房の時には古楯にあったと説明している。現在の八幡小学校の位置にあたり、この頃、日向川は現在の福山の位置から山沿いに南下し、八幡小学校の地名「大巻き」の所で、大きく西に転じて迂回していたといわれている。このことからすれば、日向川は、古楯の天然の堀をなしていたことになる。（八幡町史 上巻 P139）

現在は、国道 344 号線より北に 350m ほど行った表番地の手前に「天降神社」が登り口で、説明板が建てられている。駐車スペースは少ない。用水路を渡り天降神社の右より登ってゆくと、平坦地に出て、笹、草をかき分けて南に行くと一段高く広い主郭がある。主郭の東側に土塁と空堀が残っている。規模は東西約 104m 南北約 82m と広い。（古城盛衰記より）

2 歴史

観音寺城主は来次氏と称し、その祖先は清原氏一族ともいわれている。後三年の役（1076 年）において、末弟の清原時衡は戦列を離れて羽黒山に入り、来次法林の役嗣となって山伏に身を投じ、神仏に奉仕したと云われている。

以来 20 代にわたり山伏として世を忍んできたが、氏房（山伏名 淳祐）の時代になると武家として再興を図ろうと、羽黒山を下り、八幡町常禅寺の山中に修験道場を構えたといわれている。

来次時秀の代になると、古楯の地（現在の八幡小学校）に、日向川の支流を巧みに利用した平城を築いたが、防備から見ると不適當で麓山（現在の円通寺裏）に築城を開始した。しかし、完成を見ず逝去し、22 代氏秀の手によってようやく回字型の此の山城を構えた。（古城盛衰記）



登り口



説明板

この城の欠点は、堀に水がなく、濠であったことである。城主は、この欠点を敵の目からそらすため、馬を冷やすときに水をかける様子を遠望させるために、白米を馬にかけて水に見せかけて城の欠点を知らせないようにしたといわれる。しかし、この種の話はよく所々の城にもある話としてとどめておきたい。（八幡町史 P139）

元和元年（1515 年）の「枝城廃止令」によって、廃城と

なった。（古城盛衰記）

齋藤善右衛門氏はかつて、八幡町の内、特に、日向・大沢両地区には中世の豪族によって築かれた楯跡が多いと主張している。しかし、史実の上で、城主名等がはっきりしているのは、来次氏秀の観音寺城のみで、他ははっきりしていない。しかし、前貝楯、黒沢楯にしても土塁の後や濠もあり…（八幡町史 P140）



天降神社

歴史ある地に立つ八幡小学校、その歴史を忘れず、いつまでも守り続けていきます。